

Q3. 移転後、現在の状況について教えてください。

住宅事業本部	複数フロアに分かれていた組織が集約され、コミュニケーションが大きく向上しました。 組織間の連携もスムーズになり、業務効率の改善につながっています。
都市開発第一事業本部	ワンフロア化により視認性が向上し、部門を越えたコミュニケーションが活発化しました。 一方で、フリーアドレスの固定化や座席不足といった課題も顕在化しています。
海外事業本部	従来から柔軟な働き方を取り入れていたため、移転後の混乱は限定的でした。 ルール周知を徹底したことで問い合わせも減少し、シェアエリアでは他部署との交流も増えています。
開発企画本部	部門間の壁がなくなり、他本部との交流が増加しました。 一方で、一部では席の固定化や座席不足に関する声もあり、運用面での改善余地があると認識しています。
事業創発本部	カフェスペースは有効活用できている一方、人数規模に対して手狭な場面もあり、運用の工夫が求められています。 今後は人数や目的に応じた使い分けが課題です。
野村不動産コマース	フリーアドレス化により偶発的なコミュニケーションが増加しました。 一方で、書類保管や運用ルールの徹底に課題があり、一部で業務効率に影響が出ている状況です。
野村不動産ホテルズ	現在の運用は大きな問題なく継続できています。新オフィスへの評価は概ね良好ですが、 設備差や会議室不足、廃棄関連など、運用面での改善要望も一定数見られます。
野村不動産投資顧問	出社率は移転前と同水準で、働き方には概ね順応しています。一方で、アンケートでは改善要望も確認されており、 従来の意識が影響している側面も見られます。フリーアドレスは交流促進に寄与しつつ、課題も残っています。
野村不動産ソリューションズ	ワンフロア化により部門間の物理的な壁がなくなり、他部署との直接的なコミュニケーションが増加し、 交流が促進されています。一方で、ペーパーレス推進に対して廃棄体制が追いつかず、一部対応が個別化しています。 加えて人員増加に伴う座席不足も顕在化しており、今後の改善課題と認識しています。
野村不動産パートナーズ	シェアエリアの活用により、部門を越えた着席機会が増え、業務理解や社内接点の拡大につながっています。 一方で、交流はまだ限定的で、活発な連携には至っていない印象もあります。 また、日によって座席が不足し、働き方の柔軟性が制約される場面もあり、運用面での改善余地を感じています。